

「じょもふる」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
JOMOFULあおもり	観光客の方に、縄文の魅力に満ちた青森で喜びに満ちた旅を味わって欲しいと思い、ジョイフルと縄文を掛けて、ジョモフルと名付けました。また、県民の方にも、希少な縄文時代の遺跡がたくさんある青森をもっと身近に感じて欲しいと思い、ポップな印象を与えるような表現にしました。
JOMOふる	縄文文化を「身近に感じ、知ることのできる喜び=joyful」につながる場所になって、たくさんの人に集まってほしいという願いをこめました
じょもful 青森	縄文、Joyful(喜びを生じさせる)、ふるさとを合わせてみました。世界中の人が利用し、ふるさとも感じてもらえたらと思います。
じょもふる	英単語のJoyfulと縄文のふたつの言葉を掛けて縄文時代のことについて楽しみながら学び、知ることが出来るという施設になって欲しいという思いが込められている。また、「ふる」の部分には英単語のfullの意味も込めており、子供も大人も外国から来たインバウンドの方もめいっぱい施設で楽しんで欲しいというめいっぱいから「ふる」と名付けた
ジョモフル	縄文とジョイフルを合わせた言葉です。
じょもふる	遺跡がいっぱい（full：満ちた）を意味し、青森県をアピール。
ジョモフルDo good！	縄文を通して、たくさんの楽しみ(ジョイフル)が溢れてその生活を通して、現在の生活のありがたみを知り、現代の発展につながる良いことをする事に繋がるような広場になって欲しいという願いを込め、それと土偶をかけてDo goodというものにしました。
ジョモフルあおもり	観光客の方に、縄文の魅力に満ちた青森で喜びに満ちた旅を味わって欲しいと思い、ジョイフルと縄文を掛けて、ジョモフルと名付けました。また、県民の方にも、希少な縄文時代の遺跡がたくさんある青森をもっと身近に感じて欲しいと思い、ポップな印象を与えるような表現にしました。
じょもふる青森	遺跡がいっぱい（full：満ちた）を意味し、青森県をアピール。